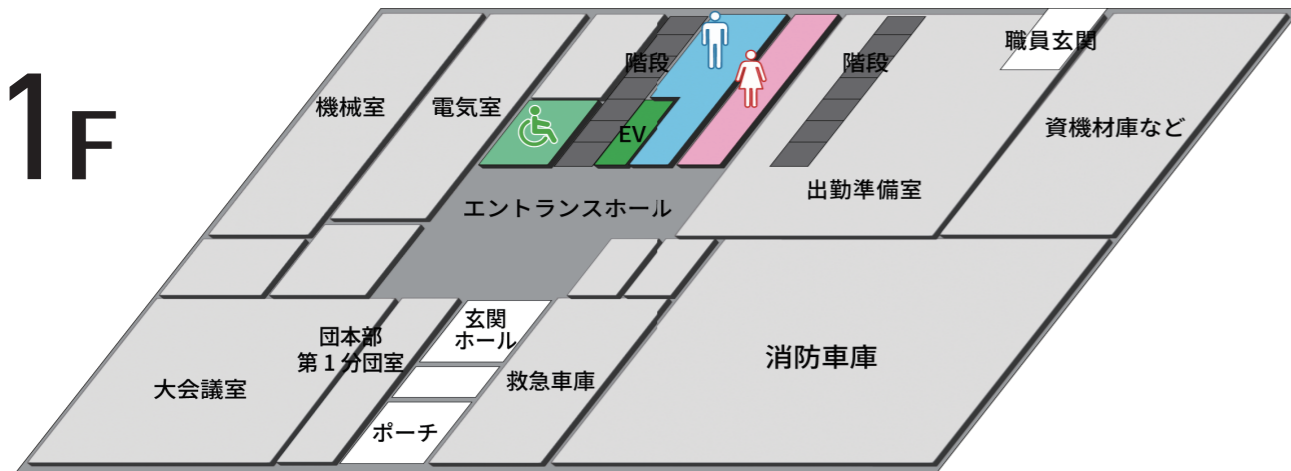


様似町の安心を守る新たな拠点 — 5月完成、新消防庁舎を紹介 —

新庁舎の内部をご案内！

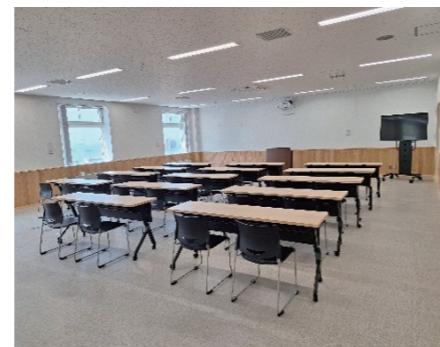
1F



車庫

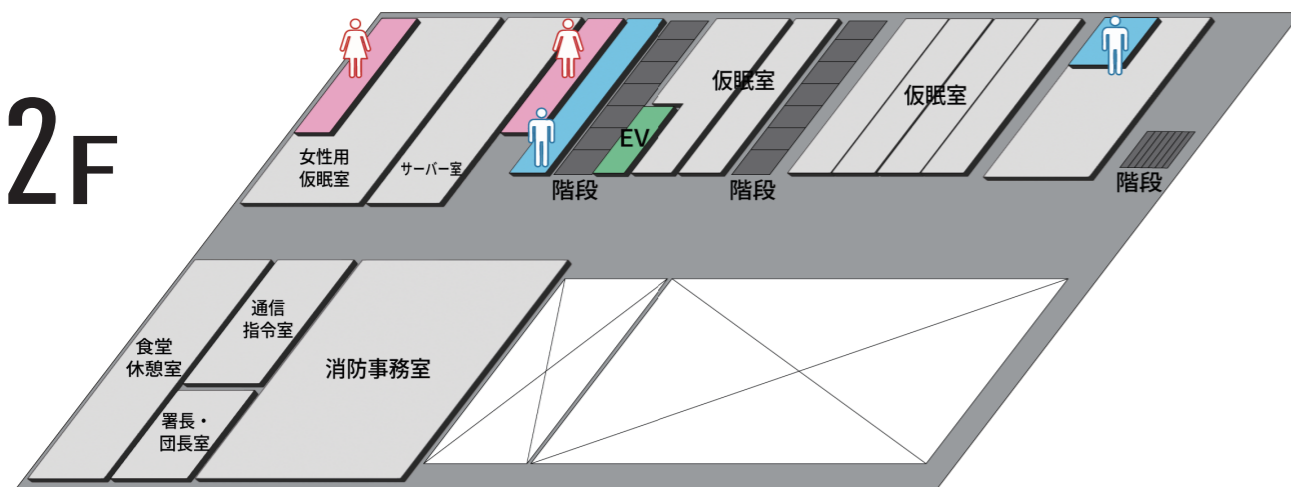


エントランスホール



大会議室

2F



事務室



通信指令室



このたび、西町高台に建築中でした消防庁舎が5月25日をもって完成しました。今後も町民の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

■ 施設概要

建築年月日	令和8年5月25日
構造	鉄骨造 地上2階建て 塔屋1
建築面積	938.81㎡
延床面積	1,530.68㎡
	塔屋 22.62㎡
	2階 609.59㎡
	1階 898.47㎡
敷地面積	3,927.26㎡
暖房設備	木質バイオマスボイラー
	燃料：木質バイオマスチップ
その他の設備	自家用発電設備
	燃料：軽油（5日分）

■ 地図



■ 消防様似支署の状況(令和8年5月現在)

消防職員数	19名	
消防団員数	81名	
消防車両	水槽付ポンプ車	2台
	消防ポンプ車	1台
	指令車	1台
	作業車	1台
緊急車両	高規格救急車	2台





消防団員を募集しています！

様似町消防団では、団員を募集しています！災害に強い町づくりのためにみなさんの力が必要です。消防団に入団して、地域の安心・安全のために活動し、自分のまちをあなたの手で守りませんか？

◆入団資格

町内居住の18歳以上で心身ともに健康な方

◆活動内容

火災発生時の消火活動や救助活動、地震・津波警報による警戒活動などです。また、それらの災害に備えて年に数回の訓練を行っています。

◆その他

年報酬、訓練・災害など出動に応じて出動報酬が支払われます。5年以上在職すると退職報償金が支払われます。

◆問い合わせ

日高東部消防組合様似支署 (Tel 36-2028)

年間行事予定

月日	行事
1月5日	消防出初式
1月中旬	現地教育訓練
4月20日～30日	春の火災予防運動 1
4月下旬	分団訓練
5月下旬	様似町消防団 消防訓練大会 2
6月下旬	日高東部消防技能訓練大会 (浦河・様似・えりも消防団合同) ※3年に1回
10月上旬	様似町消防団活性化競技大会 (パークゴルフ)
10月15日～31日	秋の火災予防運動
11月中旬	独居高齢者世帯防火査察
12月27日～29日	歳末特別警戒

1 春の火災予防運動街頭啓発を実施



春の火災予防運動に伴い、4月26日(日)、コープさっぽろ様似店で街頭啓発が行われました。

女性消防団員をはじめ、アポイ岳ジオパークのマスコットキャラクター「アポイちゃん」も参加。買い物を終えた町民のみなさんに啓発グッズを手渡し、火の元の管理には十分気を付けるように呼びかけました。

2 様似町消防団 消防訓練大会



5月24日(日)、ふれあい広場で消防訓練大会が開催されました。当日は、職・団員60名が参加。保健福祉センター前から分列行進を行ったのち、消防訓練礼式、ポンプ操法、一斉放水訓練が行われました。団員たちは、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮。分列行進・消防訓練礼式では一糸乱れぬ見事な行進、小型ポンプ・ポンプ車による操法では放水までの正確な動き、幼児センター調理室からの出火を想定した放水訓練を披露しました。



新消防庁舎には
「木質バイオマスボイラー」を導入しています



このたび、西町高台に建設した消防庁舎において、環境にやさしい熱源設備として「木質バイオマスボイラー」を導入しました。

本事業は、環境省と北海道の補助金を活用して整備したもので、間伐材などの木質チップを燃料として、庁舎内の暖房及び給湯に利用しています。

燃料となる木質チップは様似町内で生産されたものを使用しており、地産地消によるエネルギー利用を実現しています。



<西町高台に建設した消防エネルギーセンター>

■ 消防エネルギーセンター

木質バイオマスボイラー (120kw)	1台
チップ貯蔵量	40m ³
稼働日数	約15日間
CO2 排出削減効果(見込み)	年間80t



<木質バイオマスボイラー>

この「木質バイオマスボイラー」により、灯油などの化石燃料の使用量削減と二酸化炭素(CO₂)の排出抑制が期待されるほか、地域内での資源循環の促進や林業の活性化にもつながります。

様似町では、今後も環境に配慮した取り組みを進め、持続可能なまちづくりを推進していきます。



<燃料となる木質チップ>

■ 活用した補助金

環境省	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業)	36,164,000 円
北海道	新エネルギー設備導入支援事業費補助金 (木質バイオマスボイラー設備導入事業)	36,164,000 円

施設の利用方法

災害時

津波警報・大津波警報発表時や、災害により町が避難指示等を発令した場合は町職員又は消防職員が速やかに施設を開放し、避難者を受け入れます。

施設内には一定量の備蓄品を用意していますが、避難時にはできるだけ非常持出品の持参をお願いします。

平時

災害時以外も事前にお申込みいただくことで、どなたでもご利用いただけます。地域のイベントや交流の場としてご活用ください。



カフェスペース

■ 平時の利用方法

利用できるかた	町内在住のすべてのかた（高校生以下の子供だけで利用はできません）
利用料	無料
利用可能時間	午前9時～午後9時
申込先・受付時間	総務課防災・車両係（電話：0146-36-2111 メール：samani.chou@samani.jp） 受付時間：平日 午前8時45分～午後5時30分
申込方法	利用の前日までに、電話またはメールで下記事項をお伝えください ①利用日時、②利用人数、③利用されるかたのお名前と連絡先（代表者1名分）、 ④利用目的 ※日・月曜日に利用する場合は、前の週の金曜日までに申してください 施設は普段施錠しています。利用される際は隣の消防様似支署窓口にて鍵を受け取ってください。また、利用終了後は消防様似支署窓口へ鍵を返却してください
鍵の受け渡し	
休館日	年末年始（12月31日～1月5日）
注意事項	・施設敷地内は屋内外を問わず禁煙です ・施設利用後は清掃と利用簿の記載をお願いします ・施設設備を汚したり、破損したりしてしまった場合は直ちに上記申込先まで連絡してください ・災害が発生し、施設を避難所として使用する場合は、利用許可を取り消すことがあります ・営利目的や公序良俗に反する目的では利用できません



4月20日に発生した三陸沖地震による 津波警報発表に関する町民アンケートを行います



町では、今後の防災対策の参考とするため、北海道立総合研究機構と共同で、去る4月20日の津波警報発表に関する町民アンケートを下記のとおり実施します。

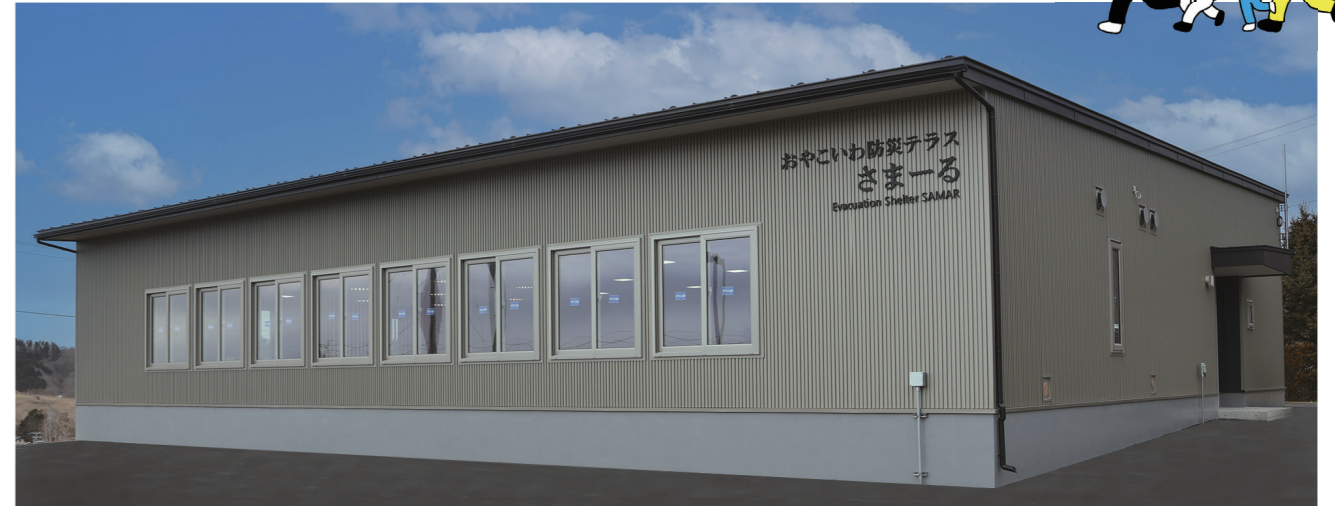
6月中旬に全世帯へアンケート用紙が郵便で配布されますので、ご協力をお願いいたします。

■ アンケートの概要

アンケート対象者	様似町に在住するすべてのかた（小学4年生以下の子供を除く）
回答方法	・アンケート用紙に回答を記入し同封の返信用封筒（切手不要）で返送 ・アンケート用紙のQRコードを読み取ってWEBフォームから回答
回答期間	令和8年6月中旬から6月末頃を予定
その他	・アンケートの協力は任意です ・アンケートの回答は町の防災対策の参考とするほか、北海道立総合研究機構の研究に活用されます ・アンケートの結果は町広報紙等にて公表する予定です ・本アンケートにかかる費用は北海道立総合研究機構の研究費によって賄われ、様似町の負担はありません

新消防庁舎の隣に

新しい避難施設も完成しました！



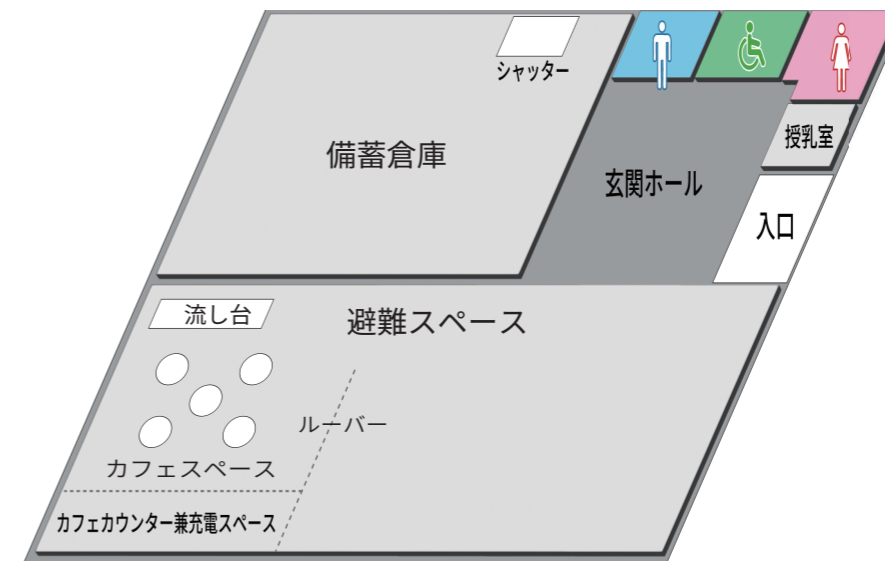
西町高台新消防庁舎の隣に建設していた新しい避難施設についても、令和8年3月に完成し、新消防庁舎に合わせて6月15日から供用開始します。

施設は災害時の避難以外の目的でも事前に申し込みればリースペースとして利用することができます。利用方法は次のページをご覧ください。

■ 施設の概要 ※施設名称と愛称は公募により決定

施設名称	おやこいわ防災テラス	施設設備	流し台、暖房設備、テレビ、Wi-Fi、電気ポッド、電子レンジ、スマホ充電スポット	
愛称	さまーる			
施設構造	木造平屋建て	収容備蓄品	アルファ化米、液体ミルク、使い捨て乳瓶、長期保存水、真空パック寝袋、真空パック毛布、真空パックタオル、簡易トイレ、発電機、ガソリン、おしりふき、子ども用おむつ、大人用おむつ、生理用品、段ボールベッド、段ボールパーティション、ドライシャンプー、ペーパー歯みがき、ボディシート、ラジオ、ランタン、使い捨て手袋、軍手、乾電池、救急箱 など	
施設面積	364.36㎡			
施設間取り	避難スペース			200.04㎡
	備蓄倉庫			100.06㎡
	授乳室			3.73㎡
収容人数	男女・多目的トイレ	21.52㎡		
	玄関・風除室	39.01㎡		
収容人数	100人			

■ 施設見取り図



避難スペース



備蓄倉庫